

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表 (平成30年度)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・規定に基づき行っている。 ・障害特性や活動内容によってパーテーション等を活用し環境設定を行っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・定員10名に対して、基本人員2名(保育士及び児童指導員)と加配職員2名(保育士)の配置以上となっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・不便な部分もありますが、逆に機能訓練効果で階段の上り下りなど上達される児童も多い。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・日常的にミーティングや定期的なブリーフィングを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・活動内容や自己評価の結果等はホームページで随時更新している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・第三者機関による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月事業所内研修を行うと共に、事業所外研修の機会も確保している。事業所外研修後は報告等の機会も取り入れいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・日常的にミーティングや定期的なブリーフィングを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通したアセスメントシートを使っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・児童の状況や障害特性に応じて行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・自立課題(モンテッソーリ教材等)や、SST、畑活動、外出、買い物学習等を組み合わせて、様々な活動を行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・活動前にミーティングを行い、活動内容や児童の状況等について確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・終了後にミーティングを行い、活動や児童の様子等について振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・日常の記録の他、支援に対する記録を整備し、情報共有を図っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		・医療的ケア(喀痰吸引や呼吸器など)が必要な児童の利用が現状ない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・受け入れの際には、事前に連絡を行い情報提供を頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		・該当する児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・児童館や公園、地域イベント等、様々な場所で交流をおこなっております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・連絡帳で子どもの状況等について情報共有を図っている。また、保護者の迎えや送迎時に活動内容や様子等について説明している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・SST、ペアトレ、モンテッソーリ教育等の専門書を置いており、自由に保護者が借りられるようにしている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や日常的にも保護者に説明を実施している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者からの相談に随時対応し、助言等を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・障害福祉サービス事業所見学会を実施した。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情対応マニュアルに基づき対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		・ホームページ上で随時活動内容を掲載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・データのセキュリティや書類の管理など徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・個々に応じて視覚的提示(絵カードや写真等)を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・地域の方と一緒に畑活動を実施したり、人形劇をして頂いた。 ・地域イベントに参加している。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・職員には周知しているが、保護者には不十分だった為、今後、周知できるように努めたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・年2回の避難訓練を実施している。また、活動の中でも消防署の施設での避難練習や消火訓練も実施している。保護者への周知が不十分だった為、今後、周知できるように努めたい。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止の研修を行うと共に、セルフチェック表等を活用している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		・該当する児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		・医師の診断を元にした保護者の情報で対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			